



JTUC

日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.373 2022.7.11

れんごう

YAMANASHI

安心社会へ 新たなチャレンジ ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

6
10
FRI

2022年度 連合山梨議員懇話会総会を開催

2022年度活動方針および、第26回参議院議員通常選挙
への取り組みを確認

6月10日(金)にジット甲府プラザ ステージホールにおいて、総勢26名での開催となりました。

2022年度活動方針は、①連合山梨が掲げる政策・制度要求の実現 ②組織の強化と充実 ③各級選挙への対応の3点になります。

第26回参議院議員通常選挙への取り組みでは、連合山梨が推薦する山梨県選挙区「宮沢ゆか」氏(現職)並びに、比例区「各構成組織内推薦候補者」の当選を果たすため、あらゆる活動を展開していくことが確認されました。

2022年度の連合山梨議員懇話会三役につきましては、下記通り確認されました。なお、幹事の皆さまにつきましては、連合山梨推薦議員と連合山梨三役構成組織の各代表者が就任しています。



2022年度 連合山梨議員懇話会 三役

会 長	古屋 雅夫	山梨県議会議員(情報労連)	副 会 長	坪井 茂	連合山梨政治センター長
副 会 長	高尾 貫	市川三郷町議会議員(JP労組)	幹 事 長	桜田 力	南アルプス市議会議員(JAM)
副 会 長	滝川 美幸	甲斐市議会議員	副幹事長	田中 好久	連合山梨事務局長

(敬称略)

6
10
FRI

連合山梨 第26回参議院議員通常選挙 総決起集会

同日、山梨県選挙区「宮沢ゆか」氏・比例区「構成組織内推薦候補者9名」の必勝に向けた総決起集会を開催し、会場参加と、YouTube LIVE配信を視聴して頂くという形で、合わせて700名を超える方々に参加いただきました。

冒頭、主催者代表として連合山梨 窪田会長より、「第26回参議院議員選挙に向けた決意と、推薦議員の支援をお願いする」との挨拶がありました。



続いて、各構成組織から趣向を凝らした組織内推薦候補者の紹介が行われた後、「宮沢ゆか」氏より参議院議員選挙必勝に向けた強い思いを語っていただき、坪井 連合山梨政治センター長による必勝ガンバローで締め括りました。

私たち連合山梨は、山梨県選挙区は「宮沢ゆか」氏、比例区は「各構成組織内推薦候補者」といった形で、必勝に向けて全力で取り組んでいきます。

連合山梨すべての組合員の力を結集し、参議院選挙の勝利に向けて共に頑張っていきましょう!

副事務局長 白倉 範人

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目3-16 センティアホテル内藤敷地内 2F
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189 (仮事務所)URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 田中 好久

Facebook
いいねしてね!

連合本部フェイスブック



連合山梨ホームページ



女性のための 連合全国一斉集中 労働相談ホットライン

5月31日(火)～6月2日(木) 街頭宣伝行動を行いました

5月31日(火)から6月2日(木)の3日間、『女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン』の周知を目的に、中部、東部、西部の各地協による街頭宣伝行動を行いました。

各日夕刻には、女性に広く労働相談を呼びかけるため、県内6カ所のショッピングセンター、スーパーにて、“解雇・雇止め”、“勤務日数・時間の削減”、“セクハラ・パワハラ”等の労働トラブル事例を掲載したビラ入りのティッシュ約2,000個を配布しました。



6月3日(金)

エフエム富士CM出演 意識・バイアスを払拭していこう!

男女平等月間の取り組みとして、ジェンダー平等委員会 杉原委員長と、女性委員会 小林恵委員長のお二方が、“みらいterminal” FMFUJI「FRIDAY PUNCH★」に出演しました。

パーソナリティーのイマヤスさんと、露木麻土香さんとの掛け合いにより、連合山梨の紹介と労働組合の役割から始まり、ジェンダーギャップ指数(社会進出における男女格差を示す指標)から日本は他国から遅れており意識改革が必要なことや、私たち労働組合こそが、先頭に立って世の中に蔓延するこれらの意識・バイアス、思い込み意識を取り払う

ことが必要であると訴えました。

また、「女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン」を6月7日(火)と8日(水)の午前9時から午後6時まで2日間開催することのPRも行いました。

最後に、「労働組合の目的は、会社と一体となって“労働条件の維持改善、や、“仕事の効率化、をはかり、会社を発展させていくことにあります。そのためにも、男女平等参画を推進させて、職場や家庭において様々な困難を抱えがちな女性など、性別にかかわらず誰もが安心して働くことができる職場の実現につなげていきたいです」と締めくくりました。

6月3日(金) 今の時代 男・女だけじゃない!

誰もが働きやすい職場を目指し、ジェンダー平等について学ぶ

6月3日(金) 甲府市総合市民会館において、ジェンダー平等推進委員会、組織対策委員会、女性委員会の共催による、ジェンダー平等セミナーが構成組織約100名の参加により開催されました。

連合は、誰もが働きやすい職場・社会環境の実現を目指し、これまでの「男女平等推進計画」から「ジェンダー平等推進計画」へ活動領域を拡げ様々な取り組みを進めています。

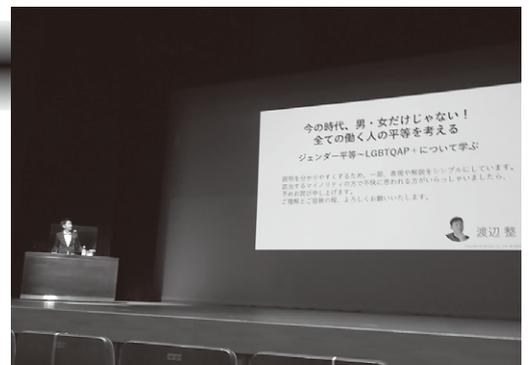
活動初年度となる本年は、『「今の時代“男”・“女”だけじゃない! 全ての働く人の平等を考える」ジェンダー平等～LGBTQAP+ (下記参照) について学ぶ』と題して、渡辺整氏を講師に講演会を実施しました。

講演では、無意識のうちに男女の役割を決めてしまう「ジェンダーバイアス」の弊害や「LGBTQAP+」と言われている方々を知らず知らずのうちに傷つけてしまう可能性があることを学びました。

「多様性を認め合う良好なコミュニケーション」の積み重ねが「一人ひとりが能力を最大限に発揮できる職場」「生き生きと働くことが出来る職場」の実現に必要であることを、参加者全員で確認する有意義な講演会となりました。

連合山梨は、今後も性別や年齢、国籍等にとらわれない働きやすい職場、暮らしやすい社会の実現に向けて継続して取り組んでいきます。

ジェンダー平等推進委員会 委員長 杉原 孝一



LGBTQAP+とは

L: レズビアン、G: ゲイ、B: バイセクシュアル、T: トランスジェンダーという4つの用語に加えて以下の頭文字を並べたものです。Qは、クィア (Queer): セクシュアルマイノリティの総称および、クエスチョニング (Questioning): 自身の性自認や性的指向が定まっていない、もしくは意図的に定めていない人。Aは、アセクシュアル (Asexual) またはエイセクシュアル: どんな性別、どんな方にも恋愛感情を抱くことのない人。また、アライ (Ally)、セクシュアルマイノリティにフレンドリーな方、支援する方、差別などをしない人。Pは、パンセクシュアル (pansexual): どのような性の方でも愛することができる人。+は、他にもさまざまなセクシュアリティーがあることを表しています。

6

8
WED**連合山梨 女性委員会労働相談学習会を実施**

6月8日(水)にセンティアホテル内藤にて、「働く女性の労働問題」について理解・共有・周知を行う場とするとともに、女性活躍推進の気運を高めることを目的とした学習会を開催しました。

講師に山梨労働局 雇用環境・均等室の上野由佳室長をお招きし、働く上で女性が抱える悩みや不安、職場の問題に関して寄せられた相談の内容や、山梨労働局で行っている様々な支援策、取り組みなどのご説明を頂きました。

最後に、女性委員の職場・会社で抱える問題など事例も交えた意見交換会を行いました。この学習会で学んだことを職場などで活かしていただければと思います。

6

15
WED**金属部門連絡会 役員研修会****経験とノウハウを活かして幅広い分野に挑戦!**

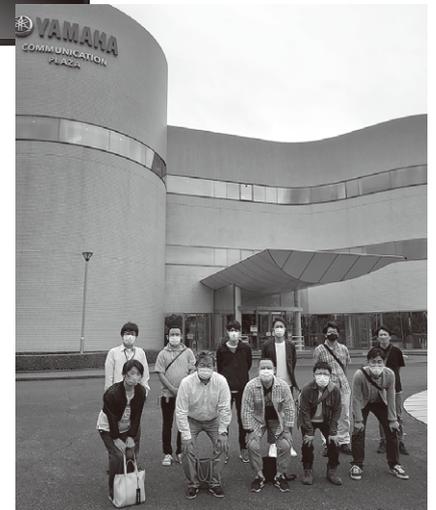
連合山梨金属部門連絡会は、6月15日(水)に役員研修会を開催し、スズキ歴史館とヤマハ発動機コミュニケーションプラザを見学しました。

スズキ歴史館は、二輪・四輪メーカーであるスズキ株式会社の自動車製造の歴史や技術についての展示、紹介をする企業博物館です。1909年創業、1920年織機メーカーとして設立以来、「価値ある製品を」を合言葉に創始者の鈴木道雄氏が発明した日本初の格子柄が自動で織れる鈴木式織機の製造が始まりです。その織機産業で培った技術をもとに自動車産業へと躍進していく様や、企画開発からデザインの工程、パーツの製造や組み立てまで一連の流れでスズキの「常にお客様の立場に立って“ものづくり”に情熱を注いだ」製造工程などを見ることが出来ました。

また、ヤマハ発動機コミュニケーションプラザでは、バイクで有名なメーカーではありますが、楽器や自動車、ボートなど幅広い分野でものづくりをしていることが分かりました。創業者の山葉寅楠氏は、修理工として働いていた時のオルガンの修理をきっかけに「山葉楽器製造所」を設立し、そこから全く違うオートバイ部門を立ち上げたそうです。

ものづくりの経験とノウハウを活かして幅広い分野の製造に挑戦し、かつ、品質の高さ、性能の優秀性をも追及していく。ものづくりに携わる一員として本当に良い勉強の機会となりました。

金属部門連絡会 議長 杉原 孝一



5

30
MON**「フードドライブボランティア」にご協力いただきありがとうございました**

連合山梨は、山梨県労働者福祉協会・中央労働金庫山梨県本部・こくみん共済coop山梨推進本部・パルシステム山梨・山梨県労農福祉センターにご協力いただきながら、各家庭から食材を集め、必要としている方々にお届けするフードドライブボランティアに取り組んでいます。

3年目を迎える本年度は、3月から約2ヶ月間、各産別(単組)で収集して頂いたコメや袋麺、缶詰、菓子類などを5月30日にフードバンク山梨へ寄贈しました。

フードバンク山梨では、生活困窮世帯に無料で食料を届けることを通年で行っておりますが、新型コロナウイルス感染症のまん延以降、食料支援の申請



が急増しています。

特に学校給食の無い夏休みの期間で支援を求める方々が多いそうです。

今後も連合山梨は、地域に根ざした活動として、毎年継続出来るボランティアとして取り組んで参りますので、引き続きご協力をお願いします。

6 **23~25** **THU SAT** **平和行動in沖縄** 語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう

連合平和行動として、6月23日の「慰霊の日」に合わせて「2022平和行動in沖縄」が開催され、連合山梨からは総勢4名が参加しました。

沖縄平和行動のテーマは「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」です。沖縄慰霊の日をスタートとして、参加した皆さんが沖縄で見たこと、聞いたこと、感じたことを大切に、そして平和について自分事として考えることの大切さを共有できる機会となる様に、この平和行動が継続して行われている事を実感しました。(中略、全文は平和感想集に掲載いたします)

現在、放映されているNHK連続テレビ小説の『ちむどんどん』とは、沖縄方言で「胸がワクワクする気持ち」を表し、ヒロインがさまざまな胸の高まりを経て成長していく物語です。今後、私たちの子ども、次の世代の子どもたちが平和で常に「胸がワクワクする気持ち」を持って生活していく世界になる様に、皆さんと共に目指しましょう！



連合山梨 副会長 杉原 孝一

平和行動in沖縄参加者		○印=団長
氏名	組織名	単組名
○杉原 孝一	J A M	TDK 労組
太田 聡		キトー 労組
鈴木 俊司	電機 連合	ファンナック 労組
弘瀬 誠	中部 地協	スクラムユニオン

(敬称略)



連合山梨会館(仮称)経過報告 No.7
取り壊し始まる！

50年を超えて私たち労働者の拠り所とされていた労農センターの解体が始まりました。
建物内の部材を処理した後、7月から本格的に躯体の解体が行われます。

やまなし労福協 **6** **14** **TUE** **第59回通常総会開催**

山梨県労働者福祉協会は、6月14日(火)甲府市勤労者福祉サービスセンターにて第59回通常総会を開催しました。

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、来賓はお招きせず規模を縮小しての開催となりました。

議長に福井理事(連合山梨)を選出し、窪田会長から挨拶をいただきました。

議事では第1号議案から第7号議案まですべての承認が行われました。

山梨県労働者福祉協会 事務局長 清水 澄男



連合山梨 2022 春季生活闘争 **闘争情報** **第6回集計** (6月28日現在) (7月11日公表)

平均賃上げ集計 (加重平均)	2022年回答妥結			2021年回答妥結		
	組合数	金額	率	組合数	金額	率
規模計	42	5,883	2.09	41	4,737	1.67

「規模計」平均賃上げ要求組合全体 2021年は昨年同時期の回答妥結状況

格差是正 **均等待遇**

交渉進捗状況	全 体 18構成組織 3オプ含む90組合					地 場 9構成組織 オプ含む32組合				
	要求	妥結	交渉中	要求せず	未定	要求	妥結	交渉中	要求せず	未定
	73	67	6	1	16	22	21	1	1	9

